
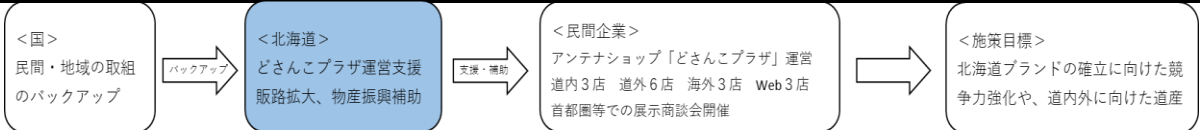


令和3年度 基本評価調書①		所管部局	経済部	所管課	食産業振興課	
施策名	道産食品の販路拡大			施策コード	05021	
政策体系(中項目)	本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造			政策体系コード	2(2)B	
知事公約	C0003 C0084 C0102 C0109 C0110 C0111 C0112 C0113	総合戦略	A3111 A3112 A3113 A3121 A3122	国土強靱化	B4221	事務事業数 12
SDGs	 			総合判定	概ね順調	

【1 Plan】

施策目標	民間と協働した付加価値の高い商品の発掘・磨き上げなど、北海道ブランドの確立に向けた競争力強化や、道内外に向けた道産食品の販路拡大を行う。					
現状と課題	マーケットニーズ等に対応した製品開発や既存製品の磨き上げなどにより付加価値をより高めていくとともに、国内はもとより、海外への販路開拓を進めることが必要。					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 企業や団体など関係者との連携体制や推進体制の構築 アンテナショップである「北海道どさんこプラザ」の運営支援 道内企業の販路拡大、物産振興事業に対する補助 					
予算額(千円)	R3	938,540	R2	210,292	R元	68,192
施策のイメージ						

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	件	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
商談会等における国内成約件数	目標値		3,633	3,706	3,781	4,300	93.8%	B
	実績値		3,722	3,496	3,545	-		

設定理由 総合計画における施策の方向性「本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造」の観点から指標として設定。

分析(主な取組と成果)

感染症の影響による商談会等の開催中止により、令和2年度実績値の計上が不可能であることから、令和元年度実績値で評価。(指標で評価できるもの以外では「包括連携協定を結んでいる企業との連携による販路拡大」「アンテナショップ『北海道どさんこプラザ』の運営支援」等に取り組んだ。)

指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

令和3年度 基本評価調書②	施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05021
---------------	-----	-----------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
	商談会等における国内成約件数	3,722	3,496	3,545	3,781	B
目標(指標)の達成状況	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響による商談会等の開催中止により、実績値の計上が困難な状況。このため、指標については令和元年度の実績で評価した。				指標総合判定	B
連携状況	包括連携協定締結企業との連携による北海道どさんこプラザでの販路拡大 ・バンコク店に係るタイ国内の物流で連携(伊藤忠) ・WEB店の設置(楽天、Yahoo!) ・札幌店のサテライト店(倶知安店、湯川店)を設置(コープさっぽろ)				連携判定	○
緊急性優先性	道産食品の販路確保・拡大は複数の経済団体や地域から継続的に要望が上がっている事項であり、特にコロナ禍以降は経済対策としても期待されていることから、一層の取組強化を図っている。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	令和2年度は通常の商談会による実績判定が困難であったが、道産食品の販路拡大については道内食関連事業者のニーズが高いことから、復調に向けて一層の取組が必要。				総合判定(一次評価)	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	コロナ禍においても道産食品の販路確保・拡大が必要であることから、引き続き商談の場を創出することとし、状況に応じてオンライン商談会を開催するなど、ウイズコロナ・ポストコロナに対応した販路拡大支援の取組を実施する。
②		
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。	対応状況(R3.3時点)	新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドラインや、北海道スタイルに基づいた感染防止策を講じながら、生産者の販路拡大支援に向け、関連施策の取組を推進していく。
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	道産食品の販路拡大支援に向け、コロナウイルス感染症の感染防止策を講じながら、商談会を開催する。また、感染等の状況によってはオンラインでの開催により取引機会を確保するなど、感染状況等に左右されにくい販路拡大策を構築する。